

# 日本タボス



撮影：佐藤和雄氏(大日向) ©

## ・ 真田氏館跡 ・

上田市築城以前の真田氏居館跡。  
中世の豪族屋敷の形態を今日に伝えています。  
長野県史跡。ツツジの名所として名高い。

誇りと伝統と

いにしえの文化が息づく

歴史の郷

NO.

4

# 「東京真田町の会」の より大きな発展を願って

会長 小林孝雄



のためにご協力を頂いている真田町の皆さん、そして会員の皆さんに先ず心から御礼を申し上げます。

会報「日本ダボス」第四号を発行するに当たり、本会の発展

「東京真田町の会」第四回総会は、去る六月二十三日(日)上野池之端文化センターにおい

## 期待される 町づくりの使命を

真田町長 若林康朗



ありましたことを心から感謝申し上げますとともに、小林孝雄会長様はじめ理事役員の皆様の高配に敬意を申し上げます。

東京真田町の会が発足して早くも四年になります。私も平成元年五月二十一日の町長就任以来、早や二年六月になり、歳月の過ぎ去る早さに今更ながら驚いております。

平成三年も残りわずかとなりましたが、去る六月二十三日に開催された第四回東京真田町の会総会は、大勢の皆様のご出席により、盛大かつ意義ある会で

本年も、皆様との交流の折に御指導賜りました郷土への御提言を念頭に、町振興の具体化に努めております。一九九八年の冬季五輪の長野開催が決まり、新幹線、高速自動車道など、高速交通網の整備促進に弾みがつき、真田町の将来像も大きく様

て盛大に開催することができました。今回は、真田町からは若林町長ほか幹部の皆様、新しく選出された議会からは山宮議長ほか議員の皆様多数のご参加を得、文字どおり「ふるさと」を実感いたしました。また、十月二十六日(土)、二十七日(日)の二日間に亘り第二回ふるさと訪問を実施し、深まり行く秋を満喫するとともに、真田町の発展や未来構想について見聞することができ、大変心

強く感じました。お世話下さった関係の皆様深く感謝申し上げます。本会はふるさとを同じくする者の集いであり、会員相互の親睦、ふるさととの交流を目的とするものです。従って、総会やふるさと訪問には積極的に参加し、お互いの親睦とふるさととの交流を深める機会として頂きたいと願う次第です。一九九八年の冬季オリンピック開催が長野に決定してから、その準備に向けて長野は大きく

変貌しつつあります。また、世界の人々の長野に対する関心も強く、真田町もその動きとともに国際化に向けて種々のプロジェクトを遂行しつつあります。私共も絶えず真田町との連携を密にし、オリンピックの成功は勿論のこと、真田町の発展に心からの支援をいたしたいと考えております。会員の皆様には、何卒引き続き本会のより大きな発展のためにご協力とご鞭撻をお願いいたします。被害がありましたものの、総じて農業生産物は順調でありました。真田町第三次長期振興計画も、前期の五カ年計画が平成四年度までで、現在、平成五年度からの後期五カ年の基本計画の策定に着手しております。本年はそのため、五月から十一月にかけて、全町三十三の公民館等の会場で、町政懇談会「町長を囲んで」を開いたり、各種団体との話し合いを実施し、率直な御意見や提言を賜っております。これらの住民ニーズを十分に分析し、決断と実行をモットーに町政に努めるとともに、郷土出身の皆様からも期待される町づくりを果たして参る所存であります。皆様の愈々の御健勝と御活躍を御祈念申し上げます。ごあいさつといたします。

# 学校教育の充実をめざして

教育長 松尾 一久



他の小学校に誇る近代的なモダンな校舎でした。しかし、二十余年の歳月を経過した今日では、内外の老朽化が進み、昨年度から本年度にかけて大規模改造工事を実施しました。

東京真田町の会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。筆を執りながら六月二十三日の第四回総会に想いを馳せ、感動を新たにしております。

ここに、真田町の学校教育についてその一端を記します。

〈傍陽小学校の大規模改造〉

傍陽小学校は昭和四十二年に改築。当時としては真田町では

中心にした外構工事を実施。屋根は現にある屋根の上に南面片流れ式の屋根を取り付けました。又、窓も鉄枠からアルミサッシに替え、外壁やベランダの補修をし、校舎外部の全面的な塗り替えを実施しました。

本年度は内部構造、床及び設備工事を主に実施。内部構造では天井、壁の補修塗り替え。校

## 真田町から御報告

町議会議長 山宮 袈裟茂



東京真田町の会の皆様、益々御壮健の事と推察申し上げます。

第四回総会には、大勢で参加させて頂き、有り難うございました。小林会長さんを始め役員の皆様方には、大変御苦勞を頂いておりますと、心から感謝申し上げます。こうして回を重ねる度に、又新しい同郷の方々との語り合える喜びも増え

て参りました。さて、当町の近況について御

報告致します。すでに皆様御承知のとおり、昭和四十五年に全国新幹線鉄道整備法が公布されてから実に二十一年、冬季オリンピックの長野開催決定にともなうようやく日の目を見ることになりました。又高速道も、地元説明会、環境アセス対策等、設計協議が急ピッチで進められております。私も議会もこれに関連するアセス道路対策等、二十一世紀に向けた対応を求められておるところでございます。

過日、欧州三ヶ国を視察する

長室はじめ事務室、職員室の拡張改造や、昇降口の改造。二階のティーチャールームを教材室とベランダへの通路として改造。床改造は校舎内の床の張り替え、設備面では防火設備をはじめとし、家庭科室の配管など。事業費は総額一億二千五百万円にのぼりました。

内外に亘る大規模改造により、校舎は機能的にも、学習環境や美観上からも面目を一新しました。

〈町内小・中学校教育の概況〉  
各校の、地域に根ざした特色ある教育活動の二・三を紹介いたします。

長小学校 ①地域に学ぶふるさと学習。全校週一時間をあて、五年生では地域の石仏の調査や杜寺の調査、六年生では真田の

昔や民話調べなど。②自問清掃。「内に自らの尺度を築かせる」自らが気づいて「よしやろう」と思って清掃に取り組み指導がなされています。

傍陽小学校 ①環境美化に力を入れ、無言清掃への取り組み、又、一人一プランターによる花の栽培を行っています。②かりがね学園との交流。自分たちで栽培、収穫した餅米で餅をつき、かりがねの皆さんを招待しています。

本原小学校 ①全校烏帽子登山の実施。②環境美化教育の徹底。空きかん、ゴミ拾いと登校時、通学路に落ちているものを拾い集めたり、特設時間に史蹟「お屋敷」の清掃などを実施し、地域環境の美化につとめています。菅平小・中学校 ①「校技ス

機会を得まして、九月三十日成田を出発致しました。途中ロンドンで乗り換え、スペインのバルセロナへ。古い街並や、来年七月に開かれるオリンピック会場、十万人以上の観客を収容するスタジアムを見学。又新装なった円型の室内競技場や、広い丘を活用した駐車場、その他の付属建物などを視察しました。五日はエンジンバラで、ラグビーのワールドカップ、日本対スコットランド戦を見学。七日はローマに渡り、千八百年の年月

「キー」としてスキーを取り入れ、スキー愛好心、心身の鍛練、スキー技術の習得にはげんでいます。昭和六十三年には県スキー連盟から、冬季オリンピック競技強化指定校に認証されました。②児童会や各学級では、ジャガイモ、ダイコン、とうもろこしづくりなどの勤労生産学習に取り組んでいます。

真田中学校 ①高い価値にふれさせるため、広く一般から講師を招いて全校講話(年十回)実施したり、土に親しみ自然に学ぶ勤労生産学習や、地域に学ぶ職業体験学習の実施。②学力向上への試みとして一斉査査や習熟度別学習が行われています。終りに、東京真田町の会の益々ご発展、会員皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

に耐えたバチカンの円型の建物を視察。鉄筋造りだと聞き、その時代の工学技術の知識に驚嘆させられました。

さて、去る十月二十五日の臨時議会に於て、東太郎山に業者が掘削した温泉の権利を取得し、同日契約致しました。町民プール、町民共同浴場の源泉として、有効利用いただけるものと期待致しております。

終りに、東京真田町の会の皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。



・総会・懇親会会場風景  
(今年も、なつかしい再会がいくつかあった)

♡ 真田美和さんを迎えて♡

## 「東京真田町の会」

# 第四回総会並びに懇親会を開催

東京真田町の会では、今年六月二十三日(日)正午より、池之端文化センターに於いて第四回総会並びに懇親会を開催いたしました。その時の状況について、ご都合により出席されなかった皆様にお知らせいたします。

当日、ふるさと真田町からは若林康朗町長さんはじめ、三井和夫助役さん、宮島恵二収入役さん、松尾一久教育長さんと関係役員十二名、山宮袈裟茂町議会議長、正木清郎町議会議長と議会議員十四名、横沢一豊区長会長、婦人会長など、四十名の方々がバスで午前十時半ごろには会場へお着きになりました。

来賓は、長野県人会連合会の矢島副会長(上田市出身)の出席を頂きました。会員は二百八名が出席し、正午すこし過ぎに会場に入って頂き、横沢清人理事の司会で全員が起立して『信濃の国』を斉唱してから総会に入る。

小林会長の挨拶で、小雨降る中、遠路ふるさと真田町から町長さんをはじめ大勢の方のご出席を頂いた御礼のことは申し述べました。

発会当時は五百二十余名であった会員も、今では六百名を越しています。その三分の一に当たる二百余名の方々が出席され、一同に会してふるさとを語り合うことは私達に許された特権である。

昨年青年部を設立する予定でしたが、諸般の事情によりまして設立することができませんでしたが、今年これを青壮年部とし初代の部長に山口元彦理事に就任して頂くことになり、会の組織発展と拡大化につとめて頂くことになりました云々。

真田町の若林町長さんは、一、ふるさととの自信と誇りを持つて町づくりに尽力している。一、一九九八年の冬季オリンピックは長野に決定した。真田町も直接、間接的にも関係がある。

一、第八回真田町青少年育成町民大会に山口元彦弁護士(当会理事)が講演された謝礼のことは、『百の理論よりも一つの行

動」。老人ホームの建設。ゴミ戦争の問題。菅平の登山鉄道も今朝の「信毎」に環境庁政令改正で閣議の決定を待っただけとなったなど、真田町の現況行政について暮らし良い町づくりに努力されておられますことをお述べになりました。引き続き総会の議事に入り、会則の九条により

小林会長が議長になり、  
一、平成二年度会務報告を清水副会長。  
一、平成二年度会計報告を三井会計理事。  
一、監査報告を塩沢監査理事が行い、審議の結果、意義なしの賛成で可決。  
一、平成三年度事業計画(案)を上原理事が発表。その議案は、

(一)、会報「日本ダボス」第四号の発行。  
(二)、ふるさと訪問の実施。十月二十六日、二十七日。りんご狩り(収穫体験)。  
(三)、ふるさと特産品の宅配。  
(四)、青壮年部の設置と各種行事の実施。

(五)、真田町との交流促進のため、各種文化行事の実施。  
(六)、その他。



・会員の皆さんに笑顔でむかえられる新人演歌歌手、真田美和さん  
(彼女のお父さんは真田町三島平の出身)

となつていきます。  
平成三年度予算(案)。真田町からの補助金などを塚田会計理事が報告。議長が審議を提出。賛成の拍手で可決成立しました。約十分間ほど休憩してから懇親会の第一部が荒木副会長の司会ではじまり、小林会長の歓迎の挨拶のち司会者が真田町から出席された各来賓者をお一人ずつご紹介し、来賓祝辞は山宮町議会議長で、ふるさとで手に豆を作り農業をしたお話や、軍隊当時、北支(中国)で同じ釜のめしを食べた戦友の竹室出身



の神林公三郎さんとここで四十二年ぶりにお会いしたのも、今日東京真田町の会のご招待に預かったからだ……。皆さんの思い出多いふるさとの自然を大切に、二十一世紀の町づくりを努力しておりますと結ばれました。

もう一方の祝辞は長野県人会連合会矢島副会長で、東京には今、長野県人が六万人から七十万人が居住しているそうです。連合会も毎年十月には日比谷公会堂で総会を開く。いつも参加者は二千人以下という事はない。私も信州上田の城址、大屋出身です。真田町の会の発展を祈るのとことでした。

この後、羽田孜先生、井出正一先生と、長野県東京事務所長の西村直吉様からの祝電の披露がありました。

第二部に入って司会者は塚田会計理事と小林正子理事にバトナタッチし、会員代表として傍陽中横道出身の半田幸弘氏の乾杯音頭で懇親会の宴会となる。アトラクションは、父親が、真田町三島平出身の新人演歌歌手、真田美和さんのデビュー曲、「男の酒蔵」「阿波の恋まつり」の他、「二円玉の旅がらす」などを三曲ずつ二回。その間に「名詩をうたう会」会長、佐藤光妙さんの詩吟、万葉集より『東歌(あづまうた)』『信濃なる千曲の川の細石も、君し踏みてば玉と拾はむ』と真田節(佐久間象山、恩田木工両先生の短歌入り)を佐藤さんが用意くださった。和歌と歌謡吟詠集により全員でその真田節を大合唱した後、真田美和さんの歌を三曲お聞きしました。

今度はカラオケ大会となり、若林町長さんの美声の喉を二曲ほど拝聴してから、有志の方のカラオケとなる。歌い終り、司会者から賞品を受け取り、席に戻る。時の経つのもつい忘れ、午後三時二十分ころ、佐藤さんの前唱で「ふるさと」を「鬼追いしかの山」を全員輪になって大合唱してから、田中恒夫理事の万歳三唱したところ、真田町の宮島収入役さんの返礼の万歳三唱



・万才の祝福を受ける当会理事の面々  
(ふりあげた腕に力が入る)

を頂き、関谷理事の閉会のことばで幕を閉じました。  
会員は真田町からの心尽くしのお土産(凍とうふ)を頂いて、再会を約し帰路につきました。来年の総会は九月二十七日(日)で、今年と同じ池之端文化センターを予定しております。一人でも多くの方々のご参加をお待ちしております。

(副) 清水 清晴記

# 心満ちた「ふるさと訪問」

塩崎 武男(大畑出身)



今年も「東京真田町の会」会則にのっとり、真田町企画課との関係のもとに、第二回ふるさと訪問が十月二十六日、二十七日に実施された。

定員三十名に限定されおれば、二回目の私は除外されるのを覚悟で申し込み、受理されて上野駅に集合せば、意外にも参加者は女性二名を含む総勢十四名であった。皆顔なじみの昨年のメンバーだったので、和気藹藹、

## 第2回 ふるさと訪問紀行

飲み物、弁当の配布ありて、談笑の中に上田駅。出迎えのバスにて信綱寺、緑地公園、真田氏本城跡へ。ここは初めての見学だ。険しい山頂より真田町の集落は一望できた。戦国時代を偲びつつ、これより菅平の宿舎に向う。道路工事のため迂回せば、晩秋の紅葉の自然を觀賞しつつ約一時間にて四阿高原ホテルに到着。明るく広いロビーにて一同記念撮影。すでに部屋割りもできており、指定の号室へ。私は小林会長と同室。往年の修学旅行並みの宿泊とは雲泥の差。一室二名、六畳の和室を完備したベッドルームは快適。展望素晴らしき大浴場も最高。十七時三十分から和室での懇親会。町長の歓迎のご挨拶、所信表明で千古温泉取得の報告あり。摂氏三十七度、毎分四百リットル湧出する温泉を一億三千万円で町が権利を取得し、これを約千九百メートル引湯して、庁舎付近に温泉施設として町民の福祉に利用予定。特に老人福祉の構想は心強く印象に残った。小林会長の謝辞ありて懇親会となる。役場職員を含む二十名の宴会は盛り上がり、すっかり美酒と

ムードに酔い、音痴を省みずカラオケのトップを切り前座をとめれば、以後は真打ち続々とマイクは休みなく渡されての大盛況。時間と飲み物は大幅に延長超過した。

二日目。眠い目で窓を開ければ、音も無く雨だ。三方展望の利く食堂



・懇親会で挨拶に立つ若林町長

で雄大の紅葉樹海を眺めつつ、コンピュータ演奏によるピアノ曲をバックに朝食。静かであった割に宿泊客の多いのに驚く。続々と食堂に集まって来る。特に若者が目立つ。九時十五分出発。谷間の紅葉に又も感嘆しつつ、帰りは迂回せず、渋沢經由で文化会館にて開催中の郷土出身の農民工芸家、故武捨久氏の遺作展他観賞。これより竹室でリング狩りなるも雨のため予定変更。集落探訪見学となる。林檎園、撰果場、お屋敷の改修工事、史料館建築の説明を車中

で拝聴しつつ、躍進著しき団地向う。保育園、町原団地。ここは数年前造成分譲され、すでに居住済み。続いて出早雄団地見学。きれいに造成された分譲地は上田市内を一望できる高台。高級住宅地が五十区画あり、給排水完備。一区画は百坪以上。坪単価十三万円とか(思わず我が家と比較し、垂涎。完売で取得者は殆ど外部で占め、地元は三割位の取得で、かつては人口の一番少なかった本原地区が最近急増し一番多くなり、傍陽地区が過疎傾向とか。この時傍陽地区の案内の要望あり。時間的に曲尾区までの巡回となる。雨も小止みとなってくる。沿道の水田には未だ脱穀もできず稲架に掛かたままの稲。茎も穂も秋の長雨で黒く変色の惨状。農家の深刻な嘆息が伝わってくるようだ。昨夜町長ご満悦の温泉発掘地点に近付く。車中で課長より温泉法を聞き勉強になった。間もなく落合橋。その傍の落合の湯は、当時(終戦前)までは

同級会、壮行会等に利用したらしい出話も出たが、今や廃屋となり原型を留めおく惨状は、真田駅舎とも併せて今昔の感にうたる。聽てその昔股賑を極めた東北町に進行途端、カフェー「スミレ」を思い出した人もいた。繭糸会社の廃業やバイパス開通により、昔日の面影なし。数分にして真田氏記念公園内の食事処「しんりん」に到着。瀟洒な建物、明るい和室でのお別れの昼食。さすがに一同、酒は疲れたようだ。休憩中、昔なじみの御婦人突然の訪問あり。奇跡の邂逅。これも会の旅の恩恵か。今回は「明と暗」を体験し、「そこが知りたい」の一端を覗き、収穫大であった。

両手に抱えきれないお土産と形に表れないお土産は胸一杯に心満ちた「ふるさと訪問」であった。二日に亘り雨の中、献身的に案内してくださった役場職員諸氏、運転手さんに厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。



# ふるさと訪問を終えて

清水 清晴 (中横道出身)



東京真田町の会では、第二回ふるさと訪問を十月二十六日と二十七日(日)におこないました。

二十六日十四時三十分、JR上田駅に集合(あさま十七号は十四時十七分上田駅着)、真田町企画課、渡辺課長補佐、小林係

長、滝沢さんと紅一点の横沢さんのお出迎えを頂きました。役場でご用意下さったバスに乗せていただき、役場では先に御殿場より参加された方と合流、信綱寺および、古城緑地公園の見学に向かいました。

四方の山々は、紅葉に少し早い気配、信綱寺の門は今新築中で、総工費一億数千万円とかと聞かすがすごい門です。鐘楼とは違うようですが、素晴らしい彫刻に囲まれた二階建ての門、また、信綱寺に昨年出来上がった檀家の位牌堂、各部落ごとに整然と並べられたご先祖様のお位牌は厳肅、荘厳そのものです。

公園、売店など約一時間の見学をさせていただき、次の見学地である真田本城へ向かいました。真田本城へは途中までバスにて登り、約二百メートルの徒歩で城跡に着いた。眼下に見下ろす真田町の風景は今でもこの老眼に焼きついております。ここは県の指定文化財になっているとのこと、昔の真田十勇士の足跡をこの足で踏むのかと思うとなんとなくおそれ多い感じがします。この両脇の山には、アケビの蔓、山葡萄の蔓やホップの

実(ビールの元)など山の道でないと思えない光景でありました。見学がおわり、道の両側にたわわと実ったリンゴの木を眺めて宿舎四阿高原ホテルに向かいました。道路工事のため菅平を経由して、標高一千五百米の高原ホテルに到着した。

ここで、信州・真田あずまや温泉のパンフレットを借りると四季と語らう歴史の里、心にしみる風景、温泉があります。上信越高原国立公園に位置する四阿山とその裾野に広がる広大な菅平の草原が控え、南に浅間山西に北アルプスという一大パノラマを望むことができます……しかし、あいにくの曇り空のため浅間山、北アルプスを見ることができませんでした。

残念……

第二土曜日の連休にも拘わらず、若林町長さんをはじめ、役員の方々のご出席を頂き、午後五時三十分から真田町の歓迎会を開催して頂きました。

若林町長さんのお話しは、「皆さんがおいで頂くたびに町は良いほうに向かっていて」というように努力しています。昨日、臨時議会を開催、昨年十二月から温泉問題が紆余曲折ありましたが、横尾の千古温泉で毎分四百リッターで無色澄明、アルカリ性、三十七度の温泉が平成元年十一月ごろでした。こ



・参加者全員でスナップ (あづまや高原ホテル、ロビーにて)

の温泉について会社と九ヶ月間話し合い、その結果、一切の権利を一億三千八百万円で譲り受け、昨日から真田温泉としました。町で千八百メートルお湯を引き、役場の広場にふれあいの湯、露天風呂などを平成五年四月から利用出来るようになります。又その横に、高齢者福祉の特別老人ホームを全国で一番すばらしい、県下でも初めての個室によるホームをふれあいの福祉健康ゾーンを平成四年に着工し、町も一層のさまがわりをしてゆきます。菅平の高原鉄道も、今年の七月には法律が改正され、今準備が着々と進められております。と、我がふるさととはますます発展途上にあります。町長さんをはじめ、役職員の皆さんのご健康、ご活躍をお祈りします。

二十七日は朝から雨が降っていたので、リング狩りが出来ないので、ホテル出発を少しのばして真田町文化会館で美術工芸展を見学しました。信州菅平高原焼、日月窯(山の上童にかえ

る子なし夫婦……佳 土くれを今日も手にして夕ごはん……芋これは芋平さんと佳代子さんのものです。いろいろと高値な作品が並べられていましたが私の財布にはあうことができなかった。その奥の会場には、中組の武捨一久さんの遺作展が処狭しと並んでおり、その力作には感動しました。

三井企画課長さんのご説明で、本原地区の発展状況や傍陽曲尾の町営住宅などを車窓より拝見させて頂き、十二時過ぎに昼食を頂く「しんりん」に到着しました。「しんりん」では、お酒やビールを頂き、信州真田町でなければ食べられないおそばを頂き、リング一筆と真田町深山の香のきのこ一箱(大四パック入り)の大変なお土産を戴き、午後一時ごろ、バスで上田駅へ送って頂きました。

役場の皆様には大変お世話になり、第二回ふるさと訪問を無事に終了させて頂きまして有り難うございました。



・新築された信綱寺の門

# 真田町青少年健全育成

## 町民大会に招かれて

山口元彦 (横浜出身)



去る六月十五日第八回真田町青少年健全育成町民大会が町の中央公民館大ホールで開かれ、私も講師としてお招きいただきました。

前夜両親の家に泊りましたが、当日午前中に松尾教育長と塚田会長のお二人がわざわざ迎えに来て下さり、大変恐縮しました。名物のお蕎麦を御馳走になつてから会場にご案内いただいたところ、町長さん議員さんをはじめとする御来賓の方々や、お母さん達を中心とする育成会の方々が大勢出席しておられ、その熱気に圧倒されました。

意に溢れた素晴らしい内容でしたが、その様な立派な会で、ろくな準備もできないままに講演をしなければならぬ私は、心臓はドキドキ、頭はカッカという有様で、具体的な内容は殆ど憶えておりません。それでも僅かに次の様な事が印象に残っておりますので御紹介します。(不正確かもしれませんが御容赦下さい)

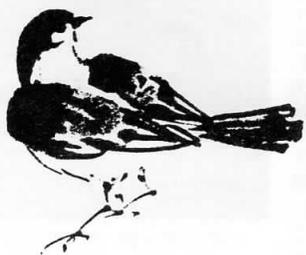
塚田会長さんの「人と人、大人と子供のふれあいを通して人的環境作りを」との御挨拶、若林町長さんの来賓祝辞の中の「自分が子供の頃は集団でよその畑の苺を盗むときも一人三箇所と決めて、それ以上は取らないというように、悪い事をするにもそれなりの限度をわきまえていた。がき大将がいて皆にそういう事を教えていた。最近ではがき大将もいなければ集団遊びもなくなつたため、子供たちはそういう限度を身につける機会がなくなつたのではないか。」

という問題提起。

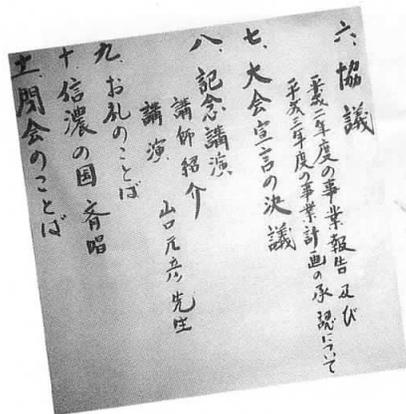
実践報告では、第七回真田町子ども祭に取組んだ実行委員会の子供たちから、素晴らしい報告がありました。町内の三つの小学校(菅平はスキー大会の取組みと重なり参加できなかったそうです)から選ばれた実行委員十名程が壇上に並び、順番に自分たちの取組み経過や、結果を報告してくれました。細かい内容は忘れましたが、とにかく企画から実行まで皆で何回も討論し、大人の手を借りずに自分たちでやりきつたとの事で、自信と誇りをもって元氣よく報告する姿に感銘を受けました。

ところで私の講演ですが、東京真田町の会の小林会長と清水副会長を通じて依頼を受けたのは丁度二カ月前でした。四月から六月にかけての二カ月というのは目の回るような忙しい時期であり、殆ど準備をする余裕がありませんのでお断りしたのですが、お二人から「いつもお世話になつている町の方たちにこういう機会に恩返しをしなければいけない」等あれこれ説得され、抵抗しきれずにお引受けさせて頂いては済みませんでした。

さてそれではテーマは何にするかとなりますと、弁護士という立場から見た青少年の育成に関連する項目は大変広く、例えば、万引・シンナー・暴走族・不純異性交遊等の問題、いじめ・校内暴力・登校拒否等学校生活に関わる問題、受験戦争・落ちこぼれ等教育全体の問題、女子高校生監禁殺人等の重大事件、これらに対する親・教師・警察・裁判所等の対応上の問題



両親の不和・別居・離婚等により子供が受ける影響の問題、これらの諸問題相互の関連、そして青少年の保護や権利保障についての法令や条約等はどうかっているか等々というように広がり、そのどれを採用しても大層深刻で難しい問題を含んでおり、一つだけでも一時間位では話されません。どうしようかと迷う内にもどんどん時間は過ぎて行き、いささか焦つてるところへ、町の教育委員会の岡村先生が助け舟を出して下さいました。つまり、真田町出身者がふるさとを愛する心を持ちながら一生懸命に生きていくこと、その気持ちや郷里の後輩たちにも受継いでもらいたいということが伝わればそれでよい、とのアドバイスを戴きました。それでこの際弁護士としての経験を踏まえてという発想はまたの機会に譲り、もっぱら個人的経験を中心にして話すことに決心しました。



そういうわけで、私がお話しした内容を御紹介するのは大変恥ずかしいのですが、「まず大人がきちんとすることが大切だ」というようなことを喋っておきながら、自分が真つ先に逃げるわけには参りませんので、かいつまんで御報告すれば凡そ次の様な話です。

1、自分の子供の頃は物質的には皆貧しく、例えばおもちゃなども木切れ等で自分で作ったものを使ったり、道具を使わない遊びをしたりしたが、そのお陰で創意工夫が培われ、たし遊びも集団でしたので相手の気持ちや痛みを理解し、加減を知ることができたこと。また、地域の大人たちがその地域の子供たちに対し、悪いことをした場合はきちんと叱りしかしレッテルを貼るようなことはしないで成長を促すという態度でいてくれたこと。2、ところが今は、物質的には

大変恵まれており、食物やおもちゃはふんだんに与えられている子が多いが、自然の中を集団で伸び伸びと走り回る機会が殆どなくなり、完成されたおもちゃを使い家の中で一人或いはごく少人数で座ったまま遊ぶことが多くなっており、その為にかえって身体的に弱くなっているばかりでなく、精神的な発達とりわけ



・「青少年育成の今日的課題—子育てと地域社会—」について講演される山口元彦先生。

人間関係のありかたにつき鍛えられなくなっていること。しかも受験競争にあおられたり、また大人たちの腐敗堕落がひどくそれをテレビ等を通じて毎日のように見せつけられているから、道徳教育等ではどうにもならないこと。3、一方で子供たちの健全な育成は、「こどもの権利条約」等に見られるように、もはや単



に「非行防止」や「社会人の育成」というような大人の側からの視点によるのではなく、子供たち自身の「成長発達する権利」を保障する為の大人たち全体の義務と考えられるようになってきていること、従って私たちは、子供たちにああしろこうしろという前に(或いはそれと同時に)、子供たちの自由な成長発達を保障できる条件作りをすること、その妨げになっている社会的な諸要因を排除く努力をすることが必要であること。何よりも大人自身が健全で豊かな精神を取戻し、地域的な連帯を作りながら環境作りを取組



むことが大切と思うこと。真田町ではその様な精神で取組みが始まっているようで大それた心強く感じられること。4、自分が住んでいる小金井市でのささやかな取組み経験や我が息子とのファミコンをめぐる攻防の紹介等。大体この様な内容ですが、振り返ってみるとあまりにもありきたりの事ばかりで、自分としても物足りないばかりでなく、何よりも地元の人達にとってわざわざ講師として呼んだ意味がなかったのではないかと申し訳なく、今後はきちんとお役にたてるように努力しようと考えております。

# 諸々の問題に思う

森本 幹生(入軽井沢出身)



以前、諏訪湖の水質汚染の環境問題で、何とかしなくてはと地域の皆さんが色々と努力され

ている姿をNHKの報道特集で放映していました。普通は動くうとしない行政サイドと、住民それに専門の先生と一緒に一つ一つの大変大切な問題に取り組んでいる姿を、長野県人として大変誇りに思っていました。私の家の近くに見事な蓮の池がありました、それが全てコンクリートで固められ、ただの



・樹景(F 8) 森本 幹生 作

人工池になってしまいました。

管理が大変だからという事でしたが、何か大切な物を失ってしまった様な気がします。結果的にも、子供達をテレビゲームの前へと追いやる手助けをしてしまったのではないかと思うのです。この件に関して、市役所、新聞社等に私なりにアピールしたのですが、どうも諏訪湖の様にはいかないようです。

これは私の身近な問題の一つにしかすぎませんが、今考えなくてはいけない問題が、環境、

## 窓

農業(食生活)をはじめ沢山あると思います。今都会の子供達の九三、八パーセントに何らかの異状が認められ、九十八パーセントの子が動脈硬化を起しており、五人に一人がアトピーであると聞きます。猿山の猿は小麦を食べ続け、生まれる子の六割が奇形と報じられています。皮を剥いて食べるとはいえ、大半を輸入している我が国で、薬害(防腐剤処理)がない訳がありません。米の自由化の問題もこうした安全面から考えると大変恐ろしく、また重要な問題であると考えられます。

桂多(息子)が生まれて、本当に農業の有り方が大切だと思ふ様になりました。それはやはり安全な食べ物を与えてあげた

## 快適な住環境をいつまでも

白井 彰(曲尾出身)

仕事柄全国各地を見る機会が多いが、それぞれの町には何か一つぐらいいは問題があるものだけ、それは、

豪雪に悩まされる。豪雨が毎年あり、崖崩れや洪水に悩まされる。夏暑くてたまらない。冬

寒くてたまらない。地形が平らで変化がない。山ばかりで平地がない。干害や風害で悩ませられる。公害を出す工場がある。職場が少なく過疎化が進展している。交通が不便である。依存してきた大工場が撤退または縮

いからです。

こうした事も含めて、もっと色々な形で話し合いの場があっても良い様に思います。最近、川崎でも市長を囲んでの文化人フォーラムや新聞社の公開編集局、平和美術展実行委員会など盛んになってきました。できる限り私も出席し話し合いをするのですが、どうも尻切れトンボの様になってしまいがちです。しかし、こうした色々なジャンルの方々、専門の方々、市側との話し合いの中から何れ大きな実を結ぶものと信じて、私なりに積極的に参加していこうと思つていきます。(大切な事ですから……)

皆様の健康を御祈り致します。

小したために経済活動が衰退した。急激な地価上昇のため、不動産をめぐりトラブルが絶えない、

などである。

ふるさと真田町には、これらに該当するものがほとんど無いようにみえる。年二回ほどの帰省時に、下原のバイパスを登っていくと南向にひろがった扇状地に新しい家並が見えてくるが、その都度何時もこんなことを思う。自然豊かな快適な住環境をいつまでも残してほしいものである。



## 故郷を想う

坂口 豪

(十林寺出身)

去る六月二十三日は東京真田町の会の総会で、地元真田町から多数の方々に御足労戴き、非常に有意義な成果がありました。町長さんの勇壮なる御挨拶にも心も讃嘆致しました。真田町の発展ぶりは実に我々の思ひに余るものがあります。これ程素晴らしい故郷を持つ私

どもは、大いに誇りを胸にひそめて生の有る限り過ごせること、無二の喜びであります。

昔を偲べば記憶に有ること、それはく言ひ表せぬのですが、今茲に昭和三年当時を追想して、長村と言ふと大昔になります、特に学校に雨天体操場が完成した当時を思ふと、時は去り当時の人影友達等は探す程となりました。後の戦死病死で浄土にと去って行きました。体操場落成当時は伊藤校長先生の下、我々小学生の喜びは大変なものでありました。また石川先生と言ふ方が落成式の歌を作詞し、全校が声高らかに、歌の一節に「四阿山をゆるがさん」と有ります

## 私の宝物

久保勝子

私の郷土は新潟県で、晴れた日には日本海のかなたにうっすらと佐渡ヶ島が見え、背景には三階節で名高い米山のふもとの小さな田舎町です。

縁あって横沢出身の主人と結婚し、早や二十数年。

過去幾度となく真田町を訪れています、最初は山間の山村というイメージが強かったように記憶しております。まだ電鉄

が、まさにその様な勢で歌ったことが、今だにはつきりと思ひ出されます。この様にして全生徒に大きな夢を与えてくださったのでした。

また想ひ起こすのは、大正天皇崩御にて、毎日の様に先生から「謹むよう」と言われて新年



が通っていて、田畑が多かったように思います。ところが、現在ではその線路のおもかげもなく、道路も整備され、そのすさまじい変貌ぶり、時代の流れには唯々おどろくのみです。

住む人の生活は都会とは一つも変るところなく、環境が変化しても生きている人達の暖かい心は一層良い方向に進んで、いつでも大きなふところ私達をこころよく迎えてくれる兄弟夫婦(久保茂春)はじめ、皆様には感謝致しております。

朝、めざめの時のすがすがしい空気とみどり一面の風景は、混雑な都会生活をしいられてい

もそこそこに過ぎ、御大喪の儀には全校生徒が在郷軍人会の方々と共に哀しい歌を合唱したことも、深く記憶に残っております。丁度上田から真田傍陽線が新設され、初めて電車にて町へ村へと行き来でき、大いに便利になった頃でした。

当時は養蚕が全盛にて、老ひも若きも悉く従事し、「国の命を繋ぐ」と信濃の国の歌にも有りますが、正にその通りと申せましょう。

その折父が急死し、子供心にもお先真つ暗な事態となり、全く行く手がない有さまの中学校を後に、非常に慌ただしく社会の風にあひ、真田町とは長いこ

る私にとって、何よりも心身の栄養剤になります。すつきりと

と音信も絶えておりましたが、私も軍籍に在りました関係で簡関点呼に召集を受け、その折のみは友とも会ひ、わずかな時間郷の近況を聞くばかりでした。

戦争に突入してからは召集が三回もありましたが、長い昭和も生き延びまして、今日この様な真田町の会にお招きを得て、非常に胸深いものがあります。

故郷の慕わしさといふものは表現し難く、また大勢の方々の温情は唯々胸に溢るるのみであります。

次回を待ち、終りに真田町のいっそうの御繁栄を祝福し、遙かに祈るものであります。

(平成三年八月盆日)

した気分させしてくれる「真田町」。私の生涯の宝物です。



昭和61年、角間渓谷は「森林浴の森」日本100選のひとつに選ばれた。真田町の中でも、とりわけ豊かな自然を残している。

3月



・長小学校卒業式 (3/20)  
 〈この学校から、優秀な先輩が数多く巣立っていった〉

# カメラ 歳時記

ふるさとこの一年

1月



・真田町成人式 (1/15)  
 〈昔も今も、真田町には美人が多い?〉

4月



・傍陽峰山から烏帽子岳を望む (4/3)  
 〈真田町のアンデスは空気うまい〉

5月



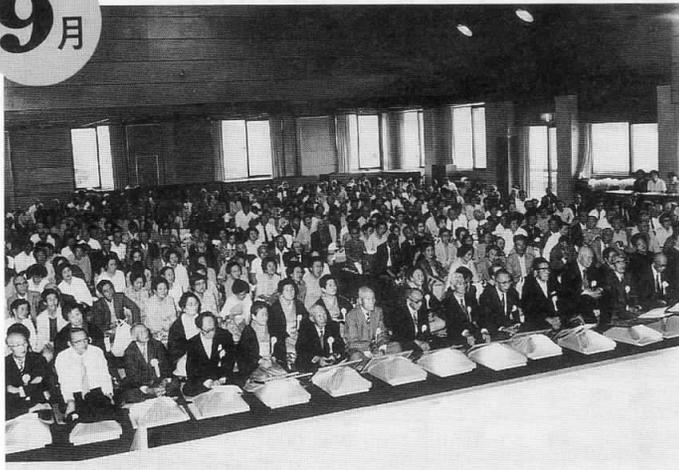
・町民体育祭 (5/12)  
 〈たるを使ったリレー。田舎ならではの味ですなあ〉

2月



・菅平に7年ぶりの大雪 (2/16) 〈最深積雪120cmを記録〉

9月



・真田町長寿会総会(9/15)  
〈年をとるのはすてきなことです〉

6月



・モロコシを育てる(6/21)  
〈農業後継者グループ「青葉会」は、今年も真田祭用のモロコシ6,000本を定植した〉

10月



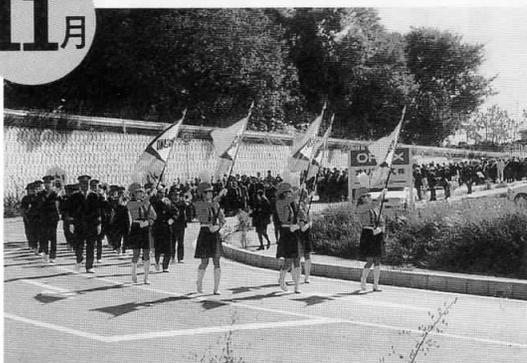
・真田町一周駅伝大会(10/20)  
〈日本長距離界の底辺(!?)〉

7月



・夢の途中(傍陽保育所)  
〈どんな夢を見ているのかな～。オネシヨしないでネ〉

11月



・交通安全町民大会(11/9)  
〈警察音楽隊、カラーガード隊のお姉さんたちもかけつけてくれた〉

8月



・真田祭り(8/3)  
〈ヒョットコの親子をスナップ〉



そして

12月

みなさんのお手元に  
会報第4号が届けられる

# 東京真田町の会 平成2年度決算報告書

自平成2年4月1日  
至平成3年3月31日 (単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前期繰越金	560,566	560,566	総会懇親費	2,000,000	1,238,136
年会費	500,000	358,000	会報発行費	500,000	509,850
総会懇親費	1,000,000	695,000	名簿印刷費		135,100
真田町補助金	900,000	900,000	総会資料		114,105
広告費	400,000	415,000	事業費	100,000	118,553
寄付金等	200,000	223,000	会議費	200,000	118,154
雑収入	39,434	124,000	事務通信費	100,000	249,996
利息		2,284	印刷費	300,000	35,549
			雑費	100,000	12,360
			予備費	100,000	
			交通費		4,890
			渉外費		395,000
			手数料		4,632
			次期繰越金	200,000	341,525
合計	3,600,000	3,277,850	合計	3,600,000	3,277,850

平成3年5月30日 会計 三井 芳郎  
会計 塚田 恒雄

上記の決算報告書は関係資料と照合の結果相違ないことを認めます。

会計監査 横沢 清人 ㊟  
会計監査 塩沢 和政 ㊟

# 東京真田町の会 平成3年度予算(案)

自平成3年4月1日  
至平成4年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	341,525	総会費	2,000,000
年会費	600,000	会報発行費	500,000
総会費	1,250,000	会議費	200,000
真田町補助金	500,000	事業費	300,000
広告費	500,000	事務通信費	250,000
寄付金等	240,000	印刷費	300,000
雑収入	168,475	雑費	50,000
		予備費	
		次期繰越金	
収入合計	3,600,000	支出合計	3,600,000



日本ダボス四号への広告をお願いしましたところ、多数の方々にご協力いただきありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

## 広告御礼

堀石 永 塩 田 上 洪 伊 坂 矢 長 佐 秦  
 籠 垣 井 崎 中 原 谷 藤 口 島 屋 藤 志  
 道 節 守 武 静 辰 夫 文 豪 五 京 光 づ  
 子 子 寿 男 江 夫 枝 郎 子 妙 お  
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 二 五  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇  
 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円

## 寄付御礼

(敬称省略)

## 東京真田町の会新入会員名簿

### 今年新しく入会された35名の皆さんです

氏名	〒	住所	電話番号	出身区
堀内 正昭	133	江戸川区北篠崎2-23-8	3676-4624	下横道
斎藤 勇		南埼玉郡白岡町西10-10-4	0480-92-1181	中組
矢島 五郎	332	川口市並木2-9-2	0482-53-2662	上田
堀内 寿美	227	横浜市緑区津田2-20-11	045-981-6681	上横道
安孫子 てる子	154	世田谷区太子堂4-4-17	3412-4173	長
花岡 智恵子		南埼玉郡白岡町小久喜73-8	0480-92-0116	真田
石井 宏子	244	横浜市栄区長沼610	045-871-6151	長
柳沢 保治	222	横浜市港北区大曾根2-25-3203	045-543-0050	戸沢
橋詰 章	168	杉並区和泉4-22-20	3322-5677	横尾
角田 和美	183	府中市武蔵台1-18-42	0423-69-4523	菅平
白井 彰	166	杉並区和田2-45-19	3384-1425	曲尾
大久保 今朝和	331	大宮市大成町3-683	048-663-1527	大日向
小野沢 和江	334	川口市本蓮3-10-3	048-84-7231	横尾
中村 幸子	353	志木市館2-8-7-102	0484-76-5691	十林寺
大久保 慶次郎	232	横浜市南区六ツ川3-85-6 G414	045-742-5343	長
大久保 あき子	132	江戸川区小松川1-2-2-313	3681-8399	菅平
田原 国栄		足柄下郡箱根町湯本16-1	0460-5-6469	菅平
斉郷 陽子	182	調布市東つつじ丘3-53-7	3309-2877	菅平
滝沢 叡	281	千葉市稲毛東5-7-19ハイネス稲毛202	0472-43-9410	真田
坂口 進	246	横浜市瀬谷区阿久和町2632-8	045-362-0994	下原
清水 光代	151	渋谷区初台2-19-3高木方	3370-8466	曲尾
渡辺 規	116	荒川区南千住2-33-1-207	3807-3422	穴沢
吉川 操	207	松戸市常磐平4-15	0473-85-4139	上横道
風戸 行子	136	江東区北砂4-16-22	3645-0941	下横道
永山 義子	169	新宿区百人町1-24-6	3361-9589	中横道
荻原 陽子	356	上福岡市北野2-9-1	0492-64-9429	岡保
柳橋 米子	120	足立区西綾瀬4-5-9	3849-4532	下横道
石谷 彰治	134	江戸川区西葛西7-4-1ドローミー西葛西	3230-4305	横道
丸山 廣義	274	船橋市習志野2-12-29	0474-65-1613	曲尾
佐々木 ちせ	136	江東区東砂8-25-5	3644-3903	傍陽
清水 一重	121	足立区島根2-17-11	3850-5314	中横道
関本 周子	123	足立区鹿浜5-19-17	3855-0868	下横道
堀内 良幸	146	大田区多摩川2-24-10-404	3492-0501	中横道
佐藤 光妙	157	世田谷区成城5-17-4	3789-2029	松本
中山 悦子	198	青梅市青梅130-1-702		東京

(敬称略)



・萩老人クラブの皆さんとスナップ

思い出スナップ1990

ハルネス・シユナイダー 生誕100年祭

in管平 (昨年)



・故ハルネス氏には、真田町から特別功労章が贈られた(ハルネス氏の長男・長女一行が来日)



・ヒゲの殿下(三笠宮)も来町される



・古城緑地広場に記念樹を植えていただく

編集後記

皆様のお陰で「日本ダボス」第四号を発行することが出来ました。また、今年も第二回ふるさと訪問を実施することができました。ご参加された方、なつかしいふるさと真田町の、再発見をお寄せください。お待ちしております。

四号といいますが、まだまだ不手際のところも多いと思いますので、お気付きのお声をどしどしお聞かせください。切磋琢磨……。

「東京真田町の会」年会費は千円です。入会金はいりません。

入会を希望される方は会費千円を、郵便振替用紙で「東京1・255577」東京真田町の会へお送りください。現在入会されている方で平成三年度などの会費未納の方は、速やかにお振込みください。

閑話休題

「渡る世間は鬼ばかり」は九月に放映が終り、十代から七十代までの方の投書が九十通近くも寄せられたそうです。

十四歳の中学生は「家族について描く温かいドラマで、五人娘を持つ母の気持ちが伝わり、ドラマを通じて母親と父親それぞれの子供に対する気持ちが分

写真提供

清水 清晴  
塩崎 武男  
田中 恒夫  
三井 芳郎  
井沢 洋(真田町役場)

かった」と「このドラマを参考にして老後を一生懸命生きたい」という六十五歳の主婦の方、親は子を思い、子は親を思う大切な「輪」と「和」。

(読売新聞より)

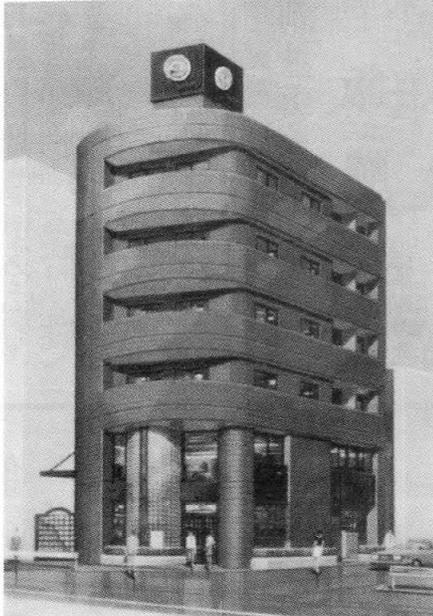
「東京真田町の会」  
役・員・名・簿

会長	小林 孝雄	神奈川県横浜市 (曲尾)
副会長	清水 清晴	東京都狛江市 (中横道)
〃	荒木 孝一	〃 田無市 (真田)
〃	横沢 正晃	〃 練馬区 (大畑)
会計	三井 芳郎	〃 世田谷区 (大庭)
〃	塚田 恒雄	千葉県柏市 (横尾)
理事	荒木 広之	東京都板橋区 (真田)
〃	石垣 節子	〃 北区 (曲尾)
〃	上原 辰夫	埼玉県浦和市 (中横道)
〃	田中 恒夫	神奈川県横浜市 (横尾)
〃	長屋 京子	東京都世田谷区 (菅平)
〃	森本 幹生	神奈川県川崎市 (入軽井沢)
〃	関谷 義久	〃 〃 (戸沢)
〃	山口 元彦	東京都小金井市 (横沢)
〃	田中 芳明	〃 大田区 (大庭)
〃	小林 正子	埼玉県白岡町 (下横道)
〃	堀籠 道子	埼玉県浦和市 (中横道)
理事監事	横沢 清人	東京都中野区 (大畑)
〃	塩沢 和政	千葉県八千代市 (大日向)

# 祝 東京真田町の会 一会報4号

広げましょう 同郷の和と輪

## 東京で躍進を続ける 真田不動産グループ



WAKO 真田ビル(当社ビル)1988年完成

### 業務内容

- 1F ●(特選輸入洋品) WAKO ショールーム ☎3620-2411
- 総合不動産業 株式会社 真田不動産 ☎3620-2511
- 2F 貸事務所(歯科医院)
- 3F
- ↳ IMPERIAL HORIUCHI (賃貸マンション)
- 6F

### 株式会社 真田不動産

代表取締役/堀内 政

(真田中学校上・元あさひ堂出身)

東京都足立区綾瀬6-30-8  
〒120(WAKO真田ビル1階)

自宅: 足立区青井4-4-10

☎03-3840-3211

※真田町の不動産売却の折は、  
ご連絡願います。  
即金買い受けます。



WAKO ショールーム(本社ビル)1階

## これからも皆様と共に。



## ハイテクに挑戦する



高い技術水準と優れた環境の浅間テクノポリスの中核都市「上田」。

その上田市周辺に山洋電気は5工場を有し、世界のトップレベルのハイテク商品を全世界に送り出しています。

上田事業所には真田町から約130名の方々のご協力を載せております。21世紀を担う主役——それはあなたです。

## 山洋電気株式会社

代表取締役社長 横沢 新二郎 (真田町荒井出身)

上田事業所 長野県上田市緑が丘1-1-7 TEL0268-22-8585(大代表)

本社 東京都豊島区北大塚1-15-1 TEL03-3917-5151(大代表)

# 祝 東京真田町の会 一会報4号一

広げましょう 同郷の和と輪

<p><b>国際浮出印刷株式会社</b> TEL(〇三三)二九二一八七七 代表取締役 <b>飯嶋 徳磨</b> (中組出身) 川口市芝 四八七 九 TEL(〇四八二)六五一二三七四</p>	<p>土地・建物・測量・登記 <b>飯嶋測量事務所</b> 土地調査士 <b>飯嶋 義道</b> (中組出身) 横浜市鶴見区梶山二一三八一十一 TEL(〇四五)五八一〇三二四 TEL(〇四五)五七一五〇五五</p>	<p><b>東京真田町の会</b> 理事 <b>石垣 節子</b> (曲尾出身) 東京都北区十条仲原三一二十一七 TEL(〇三三)三九〇〇一八六三三</p>	<p><b>三東フォーム株式会社</b> 代表取締役 <b>大久保 照男</b> (大日向出身) 本社 東京都新宿区舟町七 織田ビル TEL(〇三三)三三五一九七六(代) FAX(〇三三)三三五一九七七三 註文紳士服 <b>神林 公三郎</b> (竹室出身) 東京都北区滝野川五ノ十二ノ六 TEL(〇三三)三九一六一五九六七</p>
<p>有限会社 オフテルス 取締役会長 <b>小林 孝雄</b> (曲尾出身) 横浜市港南区日野四丁目四五―五 TEL(〇四五)八四三―八〇四一</p>	<p>かぎりなく美しく みんなで楽しくうたおう 名詩をうたう会 代表 <b>佐藤 光妙</b> 東京都世田谷区成城五一七七―四 電話(〇三三)三七八九―二〇二九</p>	<p><b>勝田電設工業株式会社</b> 代表取締役 <b>塩沢 和政</b> (大日向出身) 東京都江戸川区西小松川町三七番二号 TEL(〇三三)三六五二―八六七六代</p>	<p>長野県人会連合会評議員 狛江市長野県人会顧問 東京真田町の会副会長 <b>清水 清晴</b> (中横道出身) 東京都狛江市東野川三―十二―二 TEL(〇三三)三四八九―〇七六三 高寺税務会計事務所 東村山総合相談室 税理士 <b>高寺 森雄</b> カウンセラ (竹室出身) 東村山市廻田町三―二六―二六 TEL(〇四二三)九四―二四六八</p>
<p><b>三和梱包興業株式会社</b> <b>三和興産株式会社</b> 代表取締役 <b>上原 辰夫</b> (中横道出身) 〒335 埼玉県戸田市新曾南三丁目五番二十号 電話(〇四八四)四二―四六一(代) 四番 FAX(〇四八四)四二―一四六五番 営業種目 一般貨物運送事業 自動車運送取扱事業 輸送及国内梱包事業 安田火災海上保険代理店 自動車保険、火災、総合保険 アイ・エヌ・エイ生命保険(株)募集代理店 自宅 浦和市曲本一丁目七番十一号 TEL 〇四八八―三九―二三五六 FAX 〇四八八―三九―二三五七</p>			

# 祝 東京真田町の会 一会報4号

広げましょう 同郷の和と輪

<p>峰岡町一丁目町内会 衛生部長 <b>田中恒夫</b> (横尾出身) 事務所〒240 横浜市保土ヶ谷区峰岡町一―一八 電話 ○四五(三三五)二六八―一番 自 宅〒240 横浜市保土ヶ谷区峰岡町一―一九三 電話 ○四五(三三三)三九八二番</p>	<p>東京真田町の会 会計理事 <b>塚田恒雄</b> (横尾出身) 千葉県柏市西山一―十一―一十八 TEL(○四七二)七五―〇八二三</p>	<p>ロシア料理 <b>渋谷ログスキー</b> レストラン オーナー <b>長屋京子</b> (菅平出身) シエフ 本館 渋谷駅南口日本交通公社前大和田ビル2F 渋谷区桜丘一六―一三 大和田ビル2F TEL(○三三)四六三―二九一―</p>	<p><b>永井守寿</b> (大畑出身) 〒101 東京都千代田区内神田二―一九―一十三 TEL(○三三)三二五―四一四五―〇一</p>	<p>アーティストメデア木精会主宰 <b>森本幹生</b> (入軽井沢出身) 洋画家 川崎市中原区小杉陣屋町一―六―一八 TEL(○四四)七三三―〇二六七</p>
<p>新お茶の水法律事務所 弁護士 <b>山口元彦</b> (横沢出身) 千代田区神田淡路町一―九―一 ニューお茶の水ビル七〇二号 TEL(○三三)三五五―七九六一</p>	<p>株式会社東部財務情報センター 堀内税務会計事務所 <b>堀内茂雄</b> (中横道出身) 〒130 東京都墨田区業平四―九―一 TEL(○三三)三六二―五二二―九一三 FAX(○三三)三六二―一〇一―六四</p>	<p>ヤマト商事株式会社 代表取締役 <b>柳澤義祝</b> (萩出身) 事務所 東京都文京区本郷二―三―一十四 TEL(○三三)三八一―三一四―〇五一 自 宅 東京都柏江市猪方三―二六―二〇 TEL(○三三)三四八―〇八八―三九</p>	<p>中央建設国民健康保険組合理事 社会保険 労働士 <b>三井周</b> (大庭出身) 事務所 東京都江戸川区東葛西七―六―一四 TEL(○三三)三六八―九一三―一九一 FAX(○三三)三六八―九一三―一九九 自 宅 東京都江戸川区篠崎町三―一九―九 TEL(○三三)三六七―七三六―三六</p>	<p>東京真田町の会 会計理事 <b>三井芳郎</b> (大庭出身) 世田谷区船橋一―四八―一三一 TEL(○三三)三四八―二一九―三三三</p>
<p>(株)TKC東京パートナー 会計事務所 代表取締役 <b>関谷義久</b> (戸沢出身) 〒231 横浜市中区日本大通一八 マースクビル3F TEL ○四五―六六二―二二〇一 (中華街北門側) 〒211 川崎市中原区小杉町一―四〇三 STMビル5F TEL ○四四―七三三―一〇一 (武蔵小杉駅北口正面) 自 宅 川崎市中原区小杉町二丁目四〇三―四六―二〇三 TEL(○四四)七一―一〇〇―五五</p>		<p>育ててください ふるさと結ぶホットラインに *ふるさと宅急便 *特産物の開発・販売 長野県小県郡真田町大字長七―一七八番地の一 財団法人 <b>真田町振興公社</b> 理事長 若林康朗 TEL(○二六八)七二―二二〇〇 内線二六一</p>		

## 真田町民憲章

私たちは、豊かな自然に恵まれた真田町の町民です。

私たちの真田町は、真田氏発祥の郷であり、たくましい町民の不屈の精神によって大きく発展し続けている町です。

私たちは、真田町の町民であることに誇りと生きがいを持ち、よい町民となるために、町民憲章を心のよりどころとします。

- 1 自然を愛し環境を整え美しい町をつくります。
- 1 生産に励み豊かなくらしのある町をつくります。
- 1 お互いに助け合い暖かい心がかよう町をつくります。
- 1 からだを鍛え心を豊かに健康な町をつくります。
- 1 教養を高め創意あふれる清新な町をつくります。

---

日本ダボス (平成3年12月10日発行)

発行 東京真田町の会 会長 小林孝雄

編集委員 清水清晴 三井芳郎 上原辰夫  
横沢清人 長屋京子 森本幹生  
小林正子

印刷 (有)中沢活版所